

令和5月11月15日

羽生市議会議長 様

会 派 名 瑞藤会

代表者氏名 田口 さとる



行政視察報告書

このことについて、別紙のとおり実施したので報告します。

第18回全国市議会議長会見球フォーラム 報告書

令和5年10月25日(水)・26日(木)
於 福岡県小倉市 西日本総合展示場 新館

第1日

基調講演 片山 善博氏 『大正大学教授兼地域構想研究所長』

内容 **躍動的でわくわくする市議会に**

1. 地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する

岐路に立っている・二元代表制であるが、政治主導である

地方議会は最高議決機関であるが、市民の関心は薄い(投票率が低い、など)

自治体DX・・・デジタル化は展開したものの、X・・・変革はできていない

2. 日本の地方議会にかけていることは何か

議会基本条例は策定してはみたものの？

大きな3点 1) 議場での真剣な場なし・・・出来レース、結論は変わらない

2) 税の議論していない(EX.夕張市の破綻)

3) 住民の声が反映されていない

3. 現行の議会の権限を活用してもっと積極的煮取り組むべきこと

公開の場(議場)で、ドキドキ・ハラハラなし

予算案の修正なし、議案の修正なし

協働共同作業(執行部と議会の協働作業)

4. 議会の常識と市民の常識をすり合わせるー市民が首を傾げることとは

図書館の予算を減らす（開館・閉館時間を調整）・・・住民の意見を聞く

住民参加（議案の審議に）・・・1つ1つ丁寧に住民の意見を聞く

5. 今ふりかえって議会に感謝していること

教育の現場、疲弊している・・・いじめ・不登校

教師のなり手、不足（ブラック職場となっている）

教員は忙しい，教育現場の改善⇒教育委員会が目配り

パネルディスカッション

統一地方選挙の健勝と地方議会の課題

谷 隆徳（日本経済新聞編集委員）

・市議選でも定数割れ

長野県岡谷市・・・定数18に対し，17人立候補

・女性議員の進出

全体の22%，一部では半数に

・議員の兼業規定

市と300万円以下であれば立候補可能（契約）

辻 陽（近畿大学法学部教授）

多様な人材、当選しやすい（子育て支援・障害者支援・図書館支援など）

首長の権限が強いため、予算案が提案できず

田仲 常郎（北九州市議会議長）

地域の課題を、議員が発信

北九州市における議員立法・・・北九州市子どもを虐待から守る条例

勢一 智子（西南学院大学法学部教授）

社会体験が豊富な人

主権者教育（１８歳から）・・・時間はかかるが

濱田 真里（STAND BY WOMEN 代表

女性議員のハラスメント相談センター共同代表）

地方議員に対するハラスメントの現状

議員活動や選挙活動中に受けたハラスメント

有権者からのハラスメント

第2日

課題討議

議員になり手不足問題への取組報告

江藤 俊昭（大正大学社会共生学部公共政策学科教授）

議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く

政策競争の欠如

有権者意識の危機・議会の危機

国政を侵食する草の民主主義の衰退

辻 弘之（登別市議会議長）

なり手不足の要因・・・無関心、無理解・報酬が低い

社会変革・制度改正

たぞえ 麻友（一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事

目黒区議会議員）

女性の声を政治につなげるために

住所非公開、旧姓使用

ママの議員インターン

永野 慶一郎（枕崎市議会議員）

無投票再選挙の克服をめざした4年間の歩み

令和5年5月1日から枕崎市議会議員12名（うち4名は女性議員）

無投票回避に向け定数減を決断

市議会に対する市民の声を聴くためアンケート調査を実施

フォーラムの参加して

今回のテーマは、先の統一地方選挙の検証と地方議会のあり方と題し、福岡県小倉市を会場に2日間の日程で開催されました。

地域によっては立候補者が少なく、無投票で選挙が終了する結果となった自治体が、かなりの数でありました。人口減少社会に入り、議員のなり手不足のみならず、様々な要因によって、選挙が回避された自治体が多数に昇ったこともわかりました。

当羽生市では、議員数は埼玉県一少ない状況の中で選挙が行われ、女性が2人誕生しました。しかしながら、投票率は低下し、投票市民の無関心・無理解が進んでいるとも受け取れます。市議会議員として、市民の福祉の向上や市民生活が安定的になるように努めて行く役割、また、二元代表制の中で、しっかりと、行政経営を牽制しながら進むとの役割もあります。

今後更なる人口減少社会に入り、議員のなり手不足が深刻になって行く時代に到来なきよう、議員の1人として、しっかりと努めてゆくことも役割の1つと感じました。また、無関心層への働きかけにも取り組んでゆく必要性も感じました。

時流に合致したテーマでの今回の行政視察は、大変勉強になり、得るものはたくさんありました。機会を活用し、紐どいてゆけたらと考えています。

令和5年11月15日

市議会議員 丑久保恒行

瑞穂令

い

田口

野

